

ふれあい



病院理念

国保水俣市立総合医療センターは、地域住民の皆様に「信頼され、期待され、選ばれる」病院となるために、以下のことに専念します。

- 患者中心の医療
- 安全で高度な医療
- 地域との連携
- 環境保全
- 健全経営

国保水俣市立総合医療センター

〒867-0041 熊本県水俣市天神町1丁目2番1号

ホームページ <https://Minamata-hp.jp/>

QRコードからアクセスできます



ICTツールを活用した救急連携体制の拡充

～県境を越えた救急ICT連携の実現～

当院では、令和6年6月から水俣芦北広域行政事務組合消防本部救急隊（水俣救急隊・芦北救急隊との救急医療のさらなる迅速化を目指し、ICTツールを活用した独自の救急医療体制の構築・運用を開始しました。

その後、令和7年9月には鹿児島県救急隊（伊佐湧水消防組合・出水市消防本部）とも救急ICT連携を開始しました。県境を越えたこの取り組みは、地域の救急医療体制の強化を目指しています。

目的

救急搬送時、現場の救急隊から当院に患者情報や現場状況などの画像等をリアルタイムでデータ共有することで、医療センターでの患者の迅速な受入と救命率の向上につなげることを目的としています。

従来は、救急隊から医療機関への情報伝達は主に音声通話によって行われていましたが、このシステムでは視覚的な情報共有が可能となり、より正確で迅速な判断ができるようになりました。

～県境を跨いだ救急ICT連携～

➤情報連携のポイント

1. 患者の情報（人定情報、現場の状況など）を画像で視覚的に伝達、共有
2. 医療機関では受入準備への判断や体制構築の効率化と迅速化を実現
3. 搬送受入から、治療や検査開始までの迅速化が可能



2025/12

特長

1. 低コストでの情報連携を実現

従来の伝達方法と既存の医療用アプリを組み合わせることで、低コストでの情報連携を実現しました。通信環境に左右されない確実な情報伝達を維持しながら、救急ICTツールの使用により医療情報の共有におけるセキュリティも確保しています。

2.全国初の取り組み

救急ICTツールを使用した救急医療連携を図る取り組みは全国初となります。救急現場の状況と医療機関のニーズから、効率的な運用を独自で構築しました。

3.視覚的な情報共有による迅速化

患者の人定情報や現場の状況などを画像で視覚的に伝達・共有することで、医療機関では受入準備への判断や体制構築の効率化と迅速化を実現しました。これにより、搬送受入から治療や検査開始までの時間短縮が可能となっています。

運用実績

熊本県での運用（令和6年6月12日～）

水俣救急隊および芦北救急隊との連携を開始し、約1年4ヶ月の運用期間で以下の実績を上げています。

2024/6/12～ 2025/10/31	水俣救急隊	芦北救急隊	総数（件）
救急車搬送実績	1567	621	2188
救急ICTツール使用数	565	428	993
救急ICTツール使用割合	36.1%	68.9%	平均 45.4%

水俣救急隊では36.1%、芦北救急隊では68.9%の使用割合となっており、特に搬送時間が長い芦北救急隊での活用が進んでいます。



今後の展望

当院は、この救急ICT連携体制をさらに強化し、地域の救急医療のさらなる向上を目指してまいります。

救急ICTツールを活用した効率的な情報共有により、一人でも多くの患者さんの命を救い、地域医療に貢献していくことが私たちの使命です。

今後も、救急隊の皆様との緊密な連携を維持しながら、より質の高い救急医療の提供に努めてまいります。

災害対応訓練を実施しました

10月4日（土）に大規模災害を想定した災害対応訓練を行いました。

今回のシナリオは「日奈久断層帯を震源とする震度6強の地震が発生。院内のライフラインは電気・ガス・水道すべて正常。電子カルテ使用可能。高速道路は通行止め、新幹線は不通。」というものでした。当日は77名の職員が参加し、医師会、消防署、保健所、岡部病院と情報伝達訓練も併せて実施しました。

今回は初めて災害対策本部を本館5階の会議室に設置し、トランシーバーを用いた情報伝達を行い、本部を5階に設置した場合の指揮系統の検証を行いました。

また、赤エリアでの診療について重点的に訓練を実施しました。

実際に災害が起こった際に、訓練の反省点を生かしながらスムーズに対応ができるよう、来年度以降も訓練を重ねていきます。

当院は災害拠点病院に指定されています。災害拠点病院とは、都道府県知事が指定する、災害時に地域全体の医療救護活動を支える拠点となる病院で、DMAT（災害派遣医療チーム）の派遣、重症患者の受入・広域搬送、地域の医療機関への資器材貸し出しなどを行い、災害医療の中核を担います。平時から災害に備えた訓練や体制を整え、被災時の医療提供機能が麻痺しないよう、耐震化や設備なども強化されています。

当日の様子



参集の様子



トリアージの様子



トリアージの様子



緑エリアの様子



黄エリアの様子



赤エリアの様子



対策本部の様子



搬送の様子



訓練後意見交換の様子

ピンクリボン月間にピンクリボン運動を開催しました

「ピンクリボン月間」は、毎年10月を指し、乳がんへの理解促進と検診の普及を目的とした、世界的なキャンペーン月間で、乳がんの早期発見・早期治療の大切さを伝えるため、日本各地で街頭キャンペーンやイベント、情報発信が行われます。この期間、建物やランドマークがピンク色にライトアップされることもあり、乳がんに関する正しい知識「ブレスト・アウェアネス（乳房の健康を意識する習慣）」の重要性が訴えられます。

日本人がかかるがんの約9人に1人が乳がんで、女性のがんによる死亡原因の上位を占めますが、早期発見・早期治療で10年後の生存率は90%以上と非常に高いとされています。



ピンクリボンとは…
1980年代に乳がんで家族を亡くした遺族が「このような悲劇が繰り返されないように」という強い願いを込めて、ピンク色のリボンを作ったことが始まり。日本では2000年頃からこの啓蒙活動がはじまりました。

当院でも10月20日（月）から24日（金）にピンクリボン運動として、1階ロビーにてポスター展示や、触診体験などを行いました。

「早く見つかって、すぐに手術したから今はとっても元気。検診は大事よってみんなに伝えてね」といううれしいお言葉もいただきました。



ポスター展示



触診体験ブース

乳がんサポートチーム（M-CAST）

乳がんの治療は年々高度化・複雑化（病理結果に基づいた手術療法、放射線療法、内分泌療法など）しています。また、手術術式の縮小化やクリニカルパスの使用に伴い入院期間は3～7日程度と短縮化し、外来を中心に集学的治療が行われています。そのため乳がん患者さんは、外来診療の合間でのケアにより、治療に対するセルフマネジメントや心のケア不足が生じているといわれています。乳がん患者さんへの治療選択の支援、ボディイメージの変容へのケア、術後リンパ浮腫予防予防のセルフケア支援、薬物療法の有害事象に対するセルフマネジメントなど、社会生活の問題のサポートやQOLの向上を目指した治療や心のケアを提供する支援体制の整備が重要です。乳がんサポートチーム（M-CAST）は、乳がん患者さんの治療意思決定支援や、生活のサポートをしていくチームです。

【M-CASTメンバー】

外科医師
マンモグラフィ撮影認定技師
超音波認定技師
医療ソーシャルワーカー
理学療法士
作業療法士
がん化学療法看護認定看護師
緩和ケア認定看護師
薬剤師
婦人科病棟スタッフ
リンパ浮腫療養士

2025年度 糖尿病週間の行事を開催しました

11月14日は、世界糖尿病デーであり、インスリンを発見したフレデリック・バンティング博士の誕生日です。今年度は、11月9日（日）から15日（土）が全国糖尿病週間であり、「みんなで正しく理解しよう『ダイアベティス』」をスローガンに、全国各地で一般の方向けの講演会や健康相談などの広報活動が実施されました。

世界糖尿病デーのキャンペーンには、青い丸をモチーフにした「ブルーサークル」が用いられます。これは、糖尿病に関する国連決議がなされた翌年の2007年から使われているシンボルマークです。

国連やどこまでも続く空を表す「ブルー」と、団結を表す「輪」をデザインしています。

当院では糖尿病週間の催しとして、11月7日（金）に中庭に設置したブルーサークルの点灯式を行いました。

また、1階ロビーにおいて糖尿病に関するポスター掲示、血糖測定や糖尿病に関連した相談コーナーを設けました。医師、看護師、管理栄養士、臨床検査技師、薬剤師、理学療法士が、血糖値や食事、運動など、お一人おひとりの心配事についてお話を聞かせていただきました。12日（水）には泌尿器科医師、管理栄養士、臨床検査技師、理学療法士による特別講演会を開催しました。当日は20名ほどの方が外部から参加され、普段聞けない話に熱心に耳を傾けられていました。

今後も糖尿病週間行事を開催し、地域の糖尿病をもつ方が安心して自分らしく生活するためのサポートを行っていきます。



ブルーサークル点灯式



相談コーナーの様子



ポスター掲示



特別講演会の様子



地域住民のみなさまに、「信頼され、期待され、選ばれる病院」を目指して～
思いやりとやさしさの看護をお届けします

スペシャリスト 紹介

認定看護師の紹介

認定看護師とは、ある特定の分野で専門的な高い水準の看護を実践できると日本看護協会から認められた看護師です。

- 緩和ケア ●救急看護 ●集中ケア ●感染管理
- 糖尿病看護 ●皮膚・排泄ケア ●がん化学療法看護
- 脳卒中リハビリテーション看護 ●認知症看護

9分野10人の認定看護師 が活躍しています

認定看護師の活動

～例えばこんな活動をしています～

- ・認定看護分野の専門知識に基づき実践し質の高い看護を提供します
- ・他の看護師に対し自らが手本となり専門知識や看護技術などを指導します
- ・看護の現場で直面する問題や疑問の相談に乗り、改善に導くよう支援します

特定行為看護師の紹介

特定行為看護師とは、厚生労働省「特定行為に関わる看護師の研修制度」という専門的な研修を修了した看護師（特定看護師）で、医師の指示を受け、特定の診療の補助を実施します。

- クリティカル領域 ●周術期領域 ●外科領域
- 認知症看護領域

4領域4人の特定行為研修修了者が活躍しています

特定行為看護師の活動

特定行為は医師の指示のもと、手順書に定められた特定行為を行います

- ・呼吸管理関連：気管チューブの位置調整
人工呼吸器の設定変更など
- ・循環器関連：一時的ペースメーカーの操作
除細動
- ・消化器関連：胃ろう・腸ろうの管理
腹水穿刺など
- ・その他：創傷処置、薬剤投与量の調整など

総合医療センター 看護部

令和8年度第1回看護師採用試験のご案内

募集時期は4月初旬に公表します

初任給

254,700円～266,900円

免許取得後に就業した経験年数がある場合は、換算して給料を決定します。

休日

年間124日

年次有給休暇、夏季休暇、結婚・産前・産後、妻の出産、育児、子の看護、介護等休暇の取得も可能

国保水俣市立総合医療センター外来診療のご案内

令和8年2月現在

午前診療 8:30 - 12:00 (受付 8:00 - 11:00)
午後診療 14:00 - 17:00 (受付 13:30 - 15:00)

初めて受診される方へ受付は11時までとなります

科名	区分	内容	月	火	水	木	金
呼吸器内科	午前	診察	田代 康正	田代 康正	塩見 太郎	塩見 太郎	田代 康正
			本庄 香織	塩見 太郎	非常勤医師	本庄 香織	本庄 香織
	午後	検査	気管支内視鏡	睡眠時無呼吸検査 (予約制)	気管支内視鏡	睡眠時無呼吸検査 (予約制)	—
脳神経外科	午前	診察	佐々木 謙輔	手術	工藤 真励奈	工藤 真励奈 佐々木 謙輔	もの忘れ水頭症外来 工藤 真励奈 佐々木 謙輔
			担当医		担当医	脳ドック(隔週)	担当医
脳神経内科	午前	診察	(再診) 村上 隼人	(再診) 村上 隼人	(新患) 詹 翔叡	(新患) 池袋 雄太	(新患) 村上 隼人
			(再診) 詹 翔叡	(特殊外来・再来) 井 建一朗／松本 愛結	(再診) 池袋 雄太	(再診) 詹 翔叡	(再診) 池袋 雄太
			(新患) 松本 愛結	植田 明彦 (特殊外来・完全予約制)	—	脳ドック(隔週)	
MEG センター	午前	特殊検査 (脳磁計)	(予約) 中村 政明				
消化器内科	午前	診察	(熊大) 前田・古庄	鶴田・向坂	市川・東	市川・鶴田	向坂・古庄
		消化管透視検査	—	—	—	阿部 道雄	—
		消化管内視鏡検査	市川・向坂 鶴田	市川・古庄	鶴田・古庄	向坂・古庄 吉成(熊大)	市川・鶴田
		腹部超音波検査	—	—	向坂	—	—
循環器内科	午前	診察	廣瀬 豊樹	廣瀬 豊樹	上村 智明	廣瀬 豊樹	廣瀬 豊樹
			岡 秀樹	岡 秀樹	非常勤医師	非常勤医師	上村 智明
	午後	診察(予約のみ)	—	(ペースメーカー外来) 担当医	—	—	廣瀬 豊樹
心臓血管 外科	午後	診察(予約のみ)	—	—	—	—	(第2週) 非常勤医師
糖尿病・内 分泌セン ター 代謝内科	午前	診察	(新患) 古川 昇	古川 昇	古川 昇	古川 昇	古川 昇
			矢野 雄久	矢野 雄久	(新患) 矢野 雄久	矢野 雄久	矢野 雄久
			吉積 臨太郎	吉積 臨太郎	吉積 臨太郎	吉積 臨太郎	(新患) 吉積 臨太郎
	午後	診察(予約のみ)	矢野 雄久	—	古川 昇	古川 昇	古川 昇
			吉積 臨太郎		(第1,3,5週) 矢野 雄久	矢野 雄久	矢野 雄久
			—		(第2,4週) 吉積 臨太郎	吉積 臨太郎	—
小児科	午前	診察	黒澤 孝一	村本 健翔	中村 賢二	村本 健翔	黒澤 孝一
			非常勤医師	園田 ユカ(熊大)	非常勤医師	中村 賢二	園田 ユカ(熊大)
	午後	診察(予約のみ)	(喘息外来) 担当医	(予防接種) 担当医	(喘息外来) 担当医	(1ヶ月検診) 担当医	(第1週)発達外来 (第3週)アレルギー外来

科名	区分	内容	月	火	水	木	金
外科	午前	診察	志垣 博信	坂本 不出夫 (9:00~)	坂本 不出夫	長井 洋平	阿部 道雄
			長井 洋平				
			黒木 秀幸	志垣 博信	阿部 道雄	荒木 健吾	—
		オンライン診療	長井 洋平	長井 洋平	長井 洋平	長井 洋平	長井 洋平
		乳腺・内分泌	—	—	非常勤医師	—	—
整形外科	午前	診察	宮崎 信	中西 浩一朗	中西 浩一朗	宮崎 信	宮崎 信
			沼田 亨祐	沼田 亨祐	棚平 健	棚平 健	沼田 亨祐
			棚平 健	相馬 史朗	三浦 溪	相馬 史朗	三浦 溪
			浦上 勝	—	—	浦上 勝	—
リハビリ テーション科	午前	診察	—	—	馬場 敦子 (毎月第1・3水曜日)	松瀬 博夫	—
皮膚科	午前	診察	谷川 広紀	谷川 広紀	(再来) 谷川 広紀	谷川 広紀	谷川 広紀
			寺崎 萌	寺崎 萌	(再来) 寺崎 萌	寺崎 萌	寺崎 萌
	午後	診察	—	—	手術	—	手術
泌尿器科	午前	診察	(新患) 三浦 太郎	(第1,3,5週)東 俊之介 (第2,4週)高橋 えりか	(新患) 高橋 えりか	(第1,3,5週)(新患) 岩下 仁	(新患) 東 俊之介
			(再来) 東 俊之介	(再来) 三浦 太郎	(再来) 東 俊之介	(再来) 三浦 太郎	(再来) 高橋 えりか
	午後	診察	担当医予約・特殊検査、手術				
腎臓内科	午前	診察	—	—	—	(第2週)深水 (第4週) 非常勤医師	(第1,3,5週) 板井 陽平
産婦人科	午前	診察	(新患) 宮村 伸一	(新患) 松井 幹夫	(新患) 宮村 伸一	(新患) 松井 幹夫	手術
			(再来・妊婦健診) 松井 幹夫	(再来・妊婦健診) 宮村 伸一	(再来・妊婦健診) 松井 幹夫	(再来・妊婦健診) 宮村 伸一	
			(人間ドック) 担当医	(人間ドック) 担当医	(人間ドック) 担当医	(人間ドック) 担当医	—
	午後	診察	—	—	—	(再来) 宮村 伸一	(再来) 宮村 伸一
眼科	午前	診察	非常勤医師	特殊再来	非常勤医師	非常勤医師	非常勤医師
	午後	診察	特殊再来	特殊再来	手術	特殊再来	特殊再来
耳鼻咽喉科	午前	診察	—	非常勤医師	—	—	非常勤医師
	午後	診察	非常勤医師 (13:30~ 15:00)	—	—	—	—
放射線科	午前	診察	—	—	—	—	—
	午後	診察(外来紹介 患者のみ)	楠 真一郎 石内 聡一郎	石内 聡一郎	石内 聡一郎	石内 聡一郎	石内 聡一郎
歯科口腔 外科	午前	診察(初診受付 は午前のみ)	尾木 秀直	尾木 秀直	尾木 秀直	—	尾木 秀直
			大山 徹	大山 徹	大山 徹		大山 徹
	午後	診察 (再診及び入院 患者のみ初診のみ ※急患を除く)	尾木 秀直	—	尾木 秀直	尾木 秀直	尾木 秀直
			大山 徹		大山 徹	大山 徹	大山 徹